



「綺麗」といわれる 女性になろう!

最近「美しくなる」ための情報がいっぱい溢れていますね。すぐにわかってうれしい反面、何をしたいのか迷ってしまうことも多々あります。

今回、たびたび話題になる「綺麗と美人」の違いについて考えてみました。この二つの違いって、いったい何なのでしょう。実際にイケテル(?)男性方に聞いてみました。

美人は「見た目、顔立ちが美しい人」、綺麗なひとは「華やかさ、優雅さ、知的な雰囲気を持った人」という認識が強く、「美人」よりも「綺麗」に魅力を感じる人が、圧倒的に多かったのです。

顔形を変えることはさすがに難易度が高いですが、「綺麗」は私たちも目指すことが出来そうです!

では、「綺麗」といわれるためには何をしたらよいでしょう。

キーワードはズバリ「自信」です。まずは、自分の短所を改善するのではなく、長所を伸ばすという考えを持つこと。メイク一つでも自分の欠点を隠すのではなく、自分の良いところを活かしていくと、「隠す」気持ちから「輝かせる」という意識に変わります。ほんのちよつとの違いですが、この積み重ねが「自信」になるのです。あと、資格を持つことや身だしなみに気を

使うことも「自信」を持つために大切なことです。しかし、ここで大切なのは「目標に沿った自己投資をすること」です。

「今流行っているから、若く見られたいから」ということではなく、「私は○○したいから、そのためにいつまでも綺麗で若々しくいたい」というような、しっかりとした目的・目標を持ちましょう。

目標を持って、それに向かって前進し続けているかどうか。これが私たちを一番輝かせてくれるのです。

綺麗な女性は、目的・目標を達成するための努力を惜しみません。努力が「自信」になり、内面から溢れています。この「自信」がふとした時の「しぐさ」や「言葉」「表情」に現れるのでしょうか。

ただし、くれぐれも「私はこんなに努力しているのよ」とアピールしすぎないこと。イメージとしては、「白鳥」です。優雅に泳ぎつつも、水面下での努力を怠らないことですよ。



山内 喜代美 プロフィール
人材育成コンサルタント、個人・企業のブランディングおよびセミナー・講座の企画プロデュースを行う(株)ドリームワークスと、企業研修を行うサクセスパワー福井(有)の2社を経営。11歳と6歳の男の子の母。
ドリームワークスHP
<http://dreamworks-seminar.co.jp/>